

革新的な研究開発テーマ創出と 開発マネジメント

～大粒テーマ量産体制を目指した研究所の変革に向けて～

《開催要領》

●日 時● 2015年 2月16日(月) 13:00～17:00
●会 場● 企業研究会セミナールーム(東京:麹町)

講 師 株式会社如水 代表取締役 中村大介 氏 (弁理士)

講師紹介
東京大学大学院修了。日本電気株式会社(NEC)に入社。主に IT 業界で新商品・新規事業開発を手掛ける。2003 年 株式会社スクウェア設立(共同創業)。IT コストベンチマーク事業「SLR」、内部統制コンサルティングサービス等の様々な新規事業を立ち上げる。その後、製造業、IT 企業の新規事業開発支援のコンサルティング業務に従事し、研究開発戦略、知財戦略、事業戦略、営業戦略等のプロジェクトを実施。現在は、企業の技術者、管理職等の人材開発を支援するために社内ビジネススクールを提供しながら、引き続き企業の戦略策定を支援している。



《開催にあたって》

「技術説明テーマ」、「経営者が納得できないテーマ」、そんなテーマが量産されている。「ライフサイエンス」、「バイオ」などのバズワードでテーマを決めた気になってしまう。「棚卸した自社技術の延長線を都合よく解釈してテーマがなんとなく決まっていく。」そんなことがないだろうか? 「敗戦」が叫ばれるエレクトロニクスの業界では、蓄積してきた技術がコア技術(=収益を生み出す技術)ではなくなった所もある。エンジニアが中心となった技術イノベーション的な発想だけでは、テーマが小粒化し、容易に追いつかれてしまう。革新的テーマを考案するにはどうすればいいのか? 回答の方向性は、研究開発者の意識と行動を変え、研究所全体のアウトプットを向上させることである。本セミナーでは、事例を踏まえた研究者の意識・行動改革に基づく研究所改革について解説する。

《申込書》一般社団法人 企業研究会 セミナー事務局宛

FAX:03-5215-0951

※申込書をFAXでご送信いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意ください。
※申込書にご記入頂いた個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内をお送りする際に利用させていただきます。
■受講料:1名(税込・資料代含)

正会員	34,560円 (本体価格 32,000円)	一 般	37,800円 (本体価格 35,000円)
-----	------------------------	-----	------------------------

141711-1001 革新的な研究開発テーマ創出と開発マネジメント			
ふりがな 会社名			
住 所	〒		
TEL		FAX	
ふりがな ご氏名		所 属 役 職	
E-mail			

■参加要領: 申込書はFAX、または下記担当宛E-mailにてお送り下さい。当会ホームページからもお申込み頂けます。
後日(開催日1週間～10日前までに) 受講票・請求書をお送り致します。
※よくあるご質問(FAQ)は当会HPにてご確認ください。([TOP] → [公開セミナー] → [よくあるご質問])
※お申し込み後のキャンセルはお受けいたしかねますので、代理の方のご出席をお願いします。
■お申込・お問合わせ先: 企業研究会 公開セミナー事業グループ 担当/川守田 E-mail:kawamorita@bri.or.jp
TEL: 03-5215-3514 FAX: 03-5215-0951 〒102-0083 東京都千代田区麹町 5-7-2 麹町 31Mビル 2F

革新的な研究開発テーマ創出と開発マネジメント

2/16
(月)

13:00

1. 日本企業を取り巻く環境の変化

技術で勝って事業で負けていた時代、事業で負け続けている時代を振り返り、その問題点を探っていきます。同時に、研究者の仕事に求められる事が変わっている、すでに起こったパラダイムシフトを解説します。

2. 研究所の役割

研究所の役割を振り返り、多くの研究所で自部門の役割を矮小化(小さく捉えている)していることを指摘します。研究所は成長のエンジンであることと、研究者が「事業開発者」に変わらなければアウトプットは変わらないことを指摘します。

3. 第1の力 発想法の教育

発想法には、類推法とフレームワーク法があります。
類推法とはなにか? 研究者が知っておくべき類推の事例とは何か? 有名な高収益ビジネスを解説し、研究者をいかに教育すべきかを考えます。
研究者が使えるレベルの「フレームワーク」とはなにか? 3C、5Forcesなど、著名なフレームワークを研究者はなぜ知っておくべきか、どのように使えるのかを「実務レベル」で解説します。

4. 第2の力 自由度

自由度とはなにか? マネージャーはいかなる視点で自由を与えるべきか? マネージャーの視点で解説していきます。

5. 第3の力 情報のインプット支援

情報のインプットとはなにか? マネージャーは情報のインプットをどう支援すればいいのか? マネージャーの視点で解説していきます。

6. 第4の力 理解

成長する企業の仕組みとはなにか? 経営者は何を理解しておく必要があるのか? 研究所のアウトプットを変えるのに経営者ができることは何なのか? マネージャーはどう働きかけるべきか、解説します。

7. 幹部の変革

研究所の変革に向けて、幹部はどうあるべきか? 部下が変わっても、上司が変わらなければ意味が無い。研究所のアウトプット向上には幹部の変化が欠かせない。幹部を変えるための取り組みについて解説します。

8. まとめ

事例を通じて、研究者の意識・行動をどのように変化するかを解説します。4つの力を振り返る。自社にあった組織体制とは何か? チェックリストの提供を通じて自社の開発力を客観的に把握できるツールを提供します。

※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせて頂く場合がございます。

17:00

裏面もご覧下さい! 一枚のパンフレットで
2種類のセミナーをご案内しております。